

## はじめに

### ➤ 学生証

この「新入生ガイド」には、授業を受ける（履修する）際に必要な注意事項が書かれています。「学生便覧」、「講義要項」とあわせて、必ず目を通してください。

学生証は、必ず毎日携帯して下さい。授業前にスキャン（学生証を各教室または廊下に設置されているカード・リーダーに通すことでその情報を読み取ることを）をすることで出席が確認されます。また試験など、様々な場面で「学生証の提示」を求められます。

紛失や破損した場合は、1,000円の再発行費用と写真が必要となります。

### ➤ 掲示板

大学からの連絡は、主に掲示板を通して行います。大学では、必要な情報は自分で収集しなければなりません。掲示板を見ないことで生じる不利益は自分の責任になります。登下校の際は、必ず掲示板をチェックしてください。

台風等による休講は大学ホームページでお知らせします。<http://www.toua-u.ac.jp>

## 1. 授業について

### ➤ 授業時間帯

90分授業です。

1時限	8:50～10:20
2時限	10:30～12:00
3時限	12:50～14:20
4時限	14:30～16:00
5時限	16:10～17:40
6時限	17:50～19:20

### ➤ セメスター制

本学では、1年間を前期、後期の2学期に分けるセメスター制を導入しています。各学期にそれぞれ定期試験と成績発表があります。

### ➤ 開講期と科目

授業開始日・終了日などについては、必ず学年暦を確認してください。

- (1) 前期科目…前期のみの授業科目。週2回授業がある科目と週1回の科目があります。
- (2) 後期科目…後期のみの授業科目。週2回授業がある科目と週1回の科目があります。

- (3) 通年科目…前期・後期の1年間にわたって授業が行われる科目です。週1回の授業です。
- (4) 集中講義科目…一定期間に集中して授業が行われる科目です。主に休暇期間中に1～2週間程度開講されます。開講時期は掲示板でお知らせします。

### ➤ 教室の表記

- (1) 授業が行われる教室は、2307のように表記されます。次のような意味です。  
2 3 0 7 ⇒ 2号館3階2307教室
- (2) 都合により教室が変更になることがあります。教室変更は、掲示板にて告知しますので必ず確認してください。

### ➤ 出欠席について

#### (1) 出欠確認

本学では、基本的には学生証によるスキャンによって出欠を確認します。スキャンは授業開始10分前から受付けます。スキャンによる出席が集計され、出席率として保護者に通知されます。

#### (2) 欠席届

欠席届は事務局前にあります。また、本ガイド末尾に欠席届がありますので、コピーして使用しても結構です。欠席届を提出する場合は、下の表を参考にして、必要書類を添付した上、授業担当教員に提出してください。

欠席届には個人用とクラブ用があります。

必要書類が添付されていない場合、提出期限が守られていない場合、押印されていない場合、および鉛筆書きの欠席届は認められません。

欠席理由	必要書類・添付するもの	提出期限など
1. 病気・通院等	病院のレシート等、またはそのコピー	*原則として、提出期限は一週間前の同一科目終了時までとする。
2. 心身の不調	学生相談室・健康相談室の来談証明書	
3. 就職関係	会社訪問、入社試験等を証する書類、またはそのコピー	*不測の理由によって欠席した場合には、登校後すみやかに提出のこと(登校後3日が限度)。
4. 忌引	物故者氏名(続柄)、死亡月日	*長期入院等で欠席が長期に亘る場合には、演習担当者・卒論担当者まで申し出ること。
5. クラブの公式戦	大会要綱等、またはそのコピー	

### ➤ 休講と補講について

#### (1) 休講

休講とは大学または授業担当者の諸事情により、授業が開講されないことです。各自のポータルサイトで確認してください。掲示板でも確認することができます。

(「交通機関の不通・台風などの場合の授業休講」については学生便覧を参照。)

休講掲示がなく、授業開始より30分経過しても授業が始まらない場合は、教務課に

連絡の上、指示を受けてください。

## (2) 補講

補講とは休講などにより授業日数が不足した場合、補充のために行われる授業です。授業期間中に行われます。補講は通常の授業と同様に重要なものですから、必ず出席してください。

補講の日程は、ポータルサイトや掲示板で連絡しますので、見落とさないでください。

## 2. 単位の修得について

授業科目を「履修」（一定の手続きを経て受講）し、試験などに合格すれば、その科目の「単位を修得」できます。

卒業のために必要な単位数は124単位です。

※スポーツ健康学科柔道整復コースは126単位です。

### ➤ 単位とは

1単位とは、授業、予習復習などを含め、標準的な学生が学修に要する1週間分の時間＝45時間(平日8時間×5日＋土曜5時間)の学修時間に相当します。2単位は90時間の学修時間に相当します。

「単位の修得」とは、それだけの学修時間をかけて授業内容を理解したと認められることです。

講義科目の場合、教室での学修だけでは不十分で、予習復習などに多くの時間を割くことが必要です。そこで、2単位科目の場合、30時間分(週1コマ2時間×15週)を授業に当て、残りの60時間を予習復習などに当てます。つまり、原則として週1回の授業につき4時間の予習復習が必要です。

外国語・実験・実技・実習科目の場合、教室での学修が中心です。そこで、2単位科目の場合、60時間分(週2コマ4時間×15週)を授業に当て、残りの30時間を予習復習などに当てます。つまり、原則として週1回の授業につき1時間の予習復習などが必要です。

医療学部における一部の実習・実験では、授業時間がそのまま必要とされる学修時間となります。つまり、週3コマ6時間×15週＝90時間です。

学生便覧の別表で、「授業時間数」に「2」とあるのは2時間授業＝1コマのことです。また「4」とあるのは2時間授業×2＝2コマのことです。しかし本学では授業の効率を考えると1コマを90分授業としています。その分密度の濃い授業が行なわれますので、それに応じた集中力が必要となります。また単位とは以上述べてきたように、予習復習時間が含まれており、教員もそのことを前提にして授業にのぞみますので、しっかりと予習復習を行ってください。

### ➤ CAP 制

上記「● 単位とは」にあるように、1単位を修得するには45時間の学修時間を必要とします。CAP制は、1単位当たり45時間の学修時間を確保し、授業内容を適切に修めることを目的として、履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものです。受講生にとっては、履修科目の登録数を制限されるため、履修科目を真剣に選択する必要があります。そのため、厳選した授業科目に十分な学修時間をさき、真剣に取り組むことができるようになります。本学では1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を48単位と設定しています。

### ➤ 授業科目の単位数基準

各授業科目に与えられている単位数は、授業形式によって次の基準で算定されます。

講義・演習

毎週1コマ(90分)の授業が前期または後期に開設されている科目……………2単位

外国語・実験・実技・実習

毎週1コマ(90分)の授業が前期または後期に開設されている科目……………1単位

毎週2コマ(180分)の授業が前期または後期に開設されている科目……………2単位

(ただし、例外もあります。)

これらはすべて標準ですので、個々の科目については必ず学生便覧の各学部の項を参照してください。

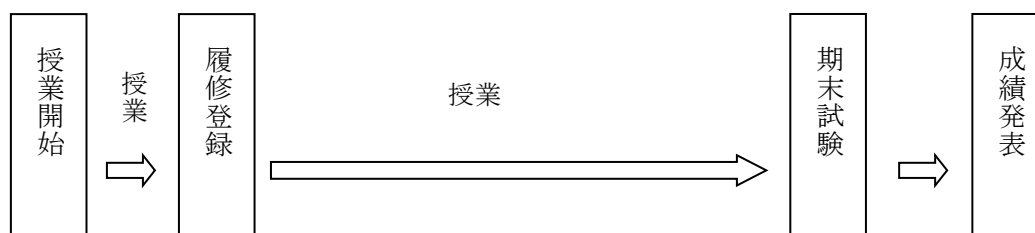
### ➤ シラバス

シラバスは講義要項に授業計画を加えたもので、授業内容が開講日毎に記載されています。シラバスは東亜大学のホームページ(<http://www.toua-u.ac.jp/>)から確認できます。また、シラバスに加え授業の進捗や授業中に配られた資料は学生専用ホームページ(<http://www1.toua-u.ac.jp/>)から確認、入手できます。

## 3. 履修登録から単位修得まで

大学では、各自が履修する科目を選択し、時間割を組んで科目を登録します。これを「履修登録」といいます。履修登録をしなかったり登録にミスがあったりすると、出席も無効になり単位を修得することができません。

「履修登録」から「単位修得」までは、前期後期ともに次のようなスケジュールです。



## 3-1. 履修登録

### ➤ 履修登録の方法

履修科目は「Web 登録」です。自分のパソコンで大学内や自宅において、履修科目の登録や変更をします。自分の時間割を登録する際に必要なものは、以下の3点です。

学生便覧……学部学科ごとに、学科課程（カリキュラム）、卒業や進級するために必要な条件、教職のための科目などが収録されています。入学年度ごとの冊子です。

講義要項……科目一覧、授業内容・目標、評価方法などが収録されています。

時間割表……学科別に各学期のガイダンス時に配付されます。

「履修登録」は、履修科目の追加や削除ができる期間が決まっています。 必ず期間内に登録をしてください。

### ➤ 履修登録を行う際の注意

#### (1) 授業科目の種類に注意！

- ・必修・資格関連・教職関連・選択必修・選択・自由の授業科目の種類に注意し時間割を組んでください。

##### 必修科目

卒業・進級や資格・免許取得のために、必ず単位を修得しなければならない科目。

##### 選択必修科目

いくつかの授業科目の中から選ぶことができる必修科目。

##### 選択科目

いくつかの授業科目の中から自由に選んで履修できる科目。

##### 自由科目

授業科目には卒業に関与する正課の科目と卒業には関与しない自由科目があります。自由科目は、主に種々の資格取得に関連する科目であり、それを修得することによって、職業選択を含めた将来の人生設計が確かなものとなるため、本学では、自己の能力を伸ばすのに必要な科目として自己開発科目と位置づけています。なお、自己開発科目（自由科目）は、CAP制による履修登録の上限単位数（48単位）には含まれません。

#### (2) 前期・後期・通年科目の登録

前期には、履修する前期科目・通年科目を登録します。

後期には、履修する後期科目と、前期と同じ通年科目を登録します。

#### (3) 卒業要件と進級要件に注意！

卒業要件とは卒業するために必要となる条件のことをいいます。

進級要件とは2、3、4年次への進級のために必要となる条件のことをいいます。2年次への進級には1ヶ年の在学期間、3年次への進級には2ヶ年の在学期間、4年次へ

の進級には3ヶ年の在学期間を必要とします。

卒業要件を充たさない場合は留年となります。

卒業要件は学部、入学年度によって異なりますので、入学年度の学生便覧で確認するようにしてください。

#### ➤ 履修登録した科目の修正

履修登録期間内であるならば、履修登録した科目の追加や修正（履修科目変更）を自由に行うことができます。ただし、期間終了後は登録が完了したものとみなし、その後の修正・追加は一切認めません。

### 3-2. 定期試験と成績(各学部細則第3章参照)

#### ➤ 定期試験・受験資格

各学期に期末試験が実施されます。試験時間割は、試験前に掲示板で掲示されます。試験日・時限・教室・持込の有無などを確認してください。

原則として授業時間数の3分の2以上出席した科目のみ、定期試験を受験できます。

演習・実験・実習・実技の科目においては定期試験にかわる試験を実施する場合があります。

教室での試験の他に、レポートをもって試験にかえることがあります。レポートを提出する場合は、課題・期限・提出先など、教員の指示及び掲示に必ず従ってください。

#### ➤ 試験時の不正行為

替え玉受験は双方無期停学になります。その他の不正行為（カンニング行為など）の場合は、その学期に履修した全科目、再試験科目（ただし演習・実験・実習・実技、教育実習の科目は除く）が無効となります。絶対に不正行為はしないでください。

#### ➤ 成績

得点90点以上が評価S、80～89点が評価A、70～79点が評価B、60～69点が評価Cで合格です。合格の場合、単位が修得できます。60点未満の場合は不合格です。

#### ➤ 追試験と再試験

##### (1) 追試験

やむをえない理由によって試験を受験できなかった人のために行なわれる試験です。

##### (2) 再試験

得点30点以上の不合格者に対して行なわれる試験です。再試験に合格すれば、単位が

修得できます。しかし、すべての科目で再試験が行われるとは限りません。

### (3) 追試験と再試験のための手続き

追試験または再試験を担当教員から認められ、受験を希望する人は、事務局に問い合わせ、「追試験願」または「再試験願」を提出してください。ただし、再試験は有料です。

### ➤ GPA制度

GPA (Grade Point Average) とは、成績評価を点数化して算出した1単位当たりの平均点のことです。本学では、グレードポイントを、S=4点、A=3点、B=2点、C=1点、不合格=0点として、各科目の単位数を掛けて、履修登録科目の総単位数で割り、GPAを算出しています。GPAによっては、修得単位数だけでは把握できない、成績の質を把握することができます。

$$GPA = \frac{\text{(科目の単位数} \times \text{グレードポイント) の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数}}$$

本学では、平成29年度入学生よりGPA制度を本格導入し、1年後期以降3期連続でGPAが1.0未満の学生については、退学勧告を行うことになりました。修得単位数だけでなく、GPAにも注意を向けて、各期の履修計画を立てるようにしてください。

なお、GPAでは、不合格になった科目も0点として計算されます。履修を取りやめる科目については、必ず履修登録期間内に履修登録を取り消してください。

GPA制度の詳細については、学生便覧を参照してください。